

# 民生委員が改選されました

令和7年12月1日付けで全国一斉に民生委員、主任児童委員の改選が行われた。

山辺地区では16名のベテラン委員が退任、新たに15名が選任され、39名の陣容で令和10年11月30日までの任期で、地域住民に寄り添い、お困り事等の相談窓口を務める事となります。又民生委員は地区社協の中心構成員であり、地域福祉活動の主体となります。

各町内の民生委員・児童委員は次の方々です。

八幡1長内孝江・堀野久美子、八幡2海老澤寿子・小松ゆり子、八幡3小島浩子・柴崎眞子、八幡4加藤哲男、八幡5欠員、八幡6稲村誓一、借宿1前田美春、借宿2澤口くみ子、借宿3山崎智香子、借宿4倉林喜代子、中川石島みよ子・齋藤恵子、西新井古田悠子・佐藤由美子、滝宮熊谷武男、堀込1茂木文江・小此木美智代・宮沢秀喜、堀込2千葉悦雄・中村ゆき江・川島伸彦・岩佐あつ子、朝倉1丸山奈穂子、吉田満、朝倉2出井美知子・木村洋子、朝倉3川端克彦・杉浦

恵美子、田中1石塚禎二、田中2三田美江子、納屋政次郎、田中3田部井久代、田中4金子和子  
主任児童委員、上岡恵子・上臺由美子・長島文江・山岡眞理子  
ごっこ宜しくお願い致します。

## 民生委員を退任して

支えられた日々だった

借宿町 徳井 範子



この度約15年務めました民生・児童委員を退任致しました。長かったようであつたという月の月日でした。

民生委員とは何をする人なのかよく分からないまま引き受けてしまいましたので、当然ながら当初は何も分からないまま無我夢中の日々でした。そんな私が何より助けられたのは周囲の先輩委員の存在でした。

私達の活動に教科書はありません。どう接したら、どうお手伝いしたら良いのか、毎日が初めての経験の連続で、その都度

## 民生委員を退任して

親の様に教えられた事も

西新井町 須永 嘉子



民生委員を受けてから9年間、多忙な中にも過ぎてしまえばとても速い月日でした。

実家の独居の母も大変お世話になり、義母も委員として任務

を全うされた経緯もありました。新しい出会いや別れもありましたが、戸別訪問、敬老会等町内行事を通じ、相談に乗りながらも、親と同様に教えて頂く事も多かった日々だったと感じます。コロナ対応の時期もあり十分に皆様との時間が持てなく、申し訳なく思います。

## 救急安心キットとは？

あなたの詳細を知らずに駆けつけてくれる救急隊員に、隊員が知りたい事項(緊急連絡先、持病、掛りつけ医、飲んでいる薬等)、を的確に伝えてくれる魔法の筒がこの安心キット。高齢者の必需品です。

冷蔵庫に入っている方、情報が変わっていませんか？早急に「現在情報」へ更新をお願い致します。

更新用紙は民生委員に連絡頂くか、又は公民館窓口にて頂きます。  
**未設置の方は大至急、民生委員に連絡して下さい。**

## 運転ボランティアを募集しています

・普通車免許とスマホを有し、健康で車を運転でき、送迎前後の生活支援に配慮できる方ならどなたでも登録できます。

・運転する車はダイハツ車で保険・メンテ・ガソリン迄ダイハツが負います。  
・規定車庫(発着基点)は山辺公民館です。



公民館の車庫状況

本事業は足利市生活支援体制整備事業として市とダイハツが連携した地域住民の移動支援事業で、その実証実験に当山辺地区社協が参画したものです。  
正式事業化に向けて住民皆様のご理解・ご協力とご活用をお願い致します

## 外出にお困りの方へ送迎支援のボランティア活動を開始します

(市・ダイハツとの実証実験に参加)

- ダイハツ車での(トヨタ)カーシェア制度を活用して
- 有料で(15分単位時間での料金体系)
- 運転ボランティアが送迎致します。



料金例	
30分	600円
45分	800円
60分	1,000円
1時間30分	1,400円
2時間	1,800円
3時間	2,600円

●料金の時間は、1回の送・迎毎に車を借り上げている時間。

即ち、車庫出発時から送迎終えて車庫に戻すまでの時間です。

利用希望者は下記の「登録運転ボランティア」に連絡し、予約を取ってご利用下さい。

3月15日より開始

利用例 通院・買物・駅迄・市役所・公民館・サロン・美容院・食事会・講演会・展覧会へ など

## モルックを共に楽しむ

障がい者交流会

現在迄の運転ボラ登録者  
八幡町 簗輪省三、三井俊二、借宿町 高瀬雅子、中川町 岡田十四夫、柳沢猛、西新井町 石川昭二、堀込町 宮沢秀喜、石原利男、樋口茂延、朝倉町 吉田満、田中幸子

共生社会促進事業として今回は地区内の障がい者グループホーム「まなび」とのモルックを紹介してのスポーツ交流会を市社協のサポートを得て、2月22日公民館別館ホールにて行った。就労B型の施設でもある「まなび」は自立にむけて努力され



皆やって良かったと満足感一杯でした。

ている方々のグループホーム。山辺に住む同じ住民として知り合い、支えあい、共生していく機会作り、その情報発信として意義ある活動である。  
当日の参加は「まなび」から管理者を含めて11名、地区社協側からは18名、昨年同様モルック協会から4名の指導員・サポーター、市社協から2名の進行係と、計35名。  
3人ずつ9チームで、館内3レーンに分かれ4ゲームの総得点でのチーム対抗戦。  
市社協提供の豪華賞品や主任児童員特製のメダル(中身チヨコ)が贈られ、大いに盛り上がった楽しい交流会となった。